

ワクチンだけど どうした？

予約取れた？

なんほ電話しても繋がらんが

やっと繋がったと思ったら、8

月だと

このところ、お年寄りの話題の中心は、コロナワクチンの接種。中には孫がパソコンで予約を取ってくれたと、自慢げに話す方もいらっしやいます。

当初ワクチン接種については、副作用を懸念する声もありましたが、始まってみれば予約申し込みが殺到する事態に。特にかかりつけ医の受付が始まってからは、開業医に長蛇の列ができ、街の医療現場は大混乱に陥りました。今後65歳以下の接種が開始される際には、更に周到な準備が必要でしょう。

ところで、先日の松江市公民館長会の席上、ある館長さんから「知的障がいや認知症のため、自力で予約の取れない高齢者への支援は？」「近親

者など手続きを助けてくれる人がいない高齢者のケアは？」という発言がありました。同席していた市の担当者からは、問題意識はあるものの、現在はそこまで手が回らない様で、明確な答えはありませんでした。

松江市の高齢者は6万人。その中には予約の仕方はもとより、そもそもワクチン接種の存在すらも知らない人もいます。助けてくれる近親者などがいればよいのですが、そうでない人達にはいったい誰が手を差し伸べるのでしょうか。

川津の高齢者は3千5百人。あなたのご近所や知り合いに、そんな方がいないとは限りません。気になるお年寄りには声をかけてみてはどうでしょう。「ワクチンだけど どうした？」って。そんな街だといいですね。